

1 あうひらがなや、かたかなをかきましよう。各50



えんぴつ



バス



きつて



スコップ

2 1にまちがいがあれば、正しくかきましよう。各10



お

おとこのぼうし。おにいさんとおねえさん。



おみもりのごはん。いもおとのおべんとお。



3 をかん字にして、文ぜんぶをかきましよう。各10

かわであそぶ。かせでやすむ。

川であそぶ。かせで休む。

むしをとる。おふるにはいる。

虫をとる。おふるに入る。

ふきのとう

13-27

1 つづくことばを、□からえらんで書きましよう。

ふうつといきを(はく)。

竹やぶが、かせに(ゆれる)。

むね いっぱいにいきを(すう)。

ゆれる すう はく おこす



2 をかん字にして、文ぜんぶをかきましよう。各10

あめがふる。雨がふる。

ゆきがとける。雪がとける。

もりをあるく。森をあるく。



3 ()にあうことばを、□からえらんで書きましよう。各10

文を(書く)。()。()。日が(あたる)。

目を(さます)。()。()。空を(見上げる)。

見上げる さます ふる あたる 書く



やあやさんの なぞなぞ

小さくても、大の つくやさいは?

大こん

一字をかえると になってしまふ やさいは?

にんじん

でもないのに、 ぼうがつくやさいは?

ごぼう

上からよんでも、 下からよんでも おなじ あかいやさいは?

トマト

※「の」は田舎の言葉の記号です。 漢字の読みかたは「の」です。 漢字の読みかたは「の」です。

よるねこ ねるよ



ひらめき道場 さかことばのまき



ふしぎだわ、 前から読んでも、 うしろから読んでも 同じだわ。 □に字を入れるの。

このこのど このこの

※「の」は田舎の言葉の記号です。 漢字の読みかたは「の」です。 漢字の読みかたは「の」です。

ふきのとう ②

13-27

() 年 () 組 () 番 () 月 () 日 () 点

1 () に **まだ・もう** の、どちらかを **書きましよう**。

雪が、(**まだ**) のこっています。

つくしが、(**もう**) かおを出しました。

でも、かぜは、(**まだ**) ひんやりしています。

いまは、(**もう**) すっかりはるです。

2 つづくことばを、○でつなぎましよう。

- やねの 雪が
- あさの ひかりを
- ながい よが
- ぼくの せが
- あける。
- ゆれる。
- のびる。
- とける。
- あびる。

3 をならべかえて、文をつくりましよう。

こないと おどれない はるかぜが

はるかぜが () こないと () おどれない ()

出しました ふきのとうが かおを

ふきのとうが () かおを () 出しました ()

たんぼほのちえ ①

41-51

() 年 () 組 () 番 () 月 () 日 () 点

1 あう 絵を **A** から **エ** まで **えらんで** () に **書きましよう**。

花 わた毛 じく

(**ア**) (**イ**) (**ウ**)

(**イ**) (**エ**)

2 () に **あう** ことばを、() から **えらんで** **書きましよう**。

しずかに からだを (**休ませる**) 。

あたらしい なかまを (**ふやす**) 。

花は しぼんで、色が (**かわる**) 。

雨の 日には、わた毛の らつかさんは (**すぼむ**) 。

すぼむ かわる 休ませる へらす ぶやす

3 () に **あう** ことばを、() から **えらんで** **書きましよう**。

つかれて、家で (**ぐったり**) よこになる。

ふうせんが、風で (**ふわふわ**) とぶ。

やくそくを (**すっかり**) わすれてしまふ。

いっぱいに すっかり ふわふわ ぐったり

名前

おてんばさん
おてんばさん
おてんばさん
おてんばさん
おてんばさん
おてんばさん
おてんばさん
おてんばさん
おてんばさん
おてんばさん

絵から音を
つくろうのまき

カキーン
パキーン

(解答例)

パンパン
バシッバシッ

ゴクゴク
ゴクゴク
ゴクゴク

シュツシュツ
ゴトゴト

保 険 協 会
この入会金は、はらった入会金の入会期間中に限り有効です。
※この入会金は、はらった入会金の入会期間中に限り有効です。
※この入会金は、はらった入会金の入会期間中に限り有効です。

♣ 「もち」なのに でないのは、なあに？

かがみもち かきもち しりもち

(解答例)

おなじなのにのまき

はしなのに でないのは？

つりばし わりばし

♣ 「くり」なのに でないのは、なあに？

あまぐり どんぐり はまぐり

5 たしあめ

たんぼほのちえ ②
41-51

なまえ () 年 組 番 月 日 点

1 () に あう ほうの 字を 書きましよう。

各 10 点

たんぼほ (は) は、いろいろな (を) はたらかせます。ちえ (を) はたらかせます。そうして、あちらこちら (に) たね (を) ちらします。



2 「ちえ」の正しいいみに、○をつけましよう。

②

- () みんなでよくはなしあうこと。
- () よくものを見たり、しらべたりすること。
- (○) かんがえたり、おもったりするかしこさ。



3 つぎの文は、ようす わけのどちらですか。

各 10 点

- そのほうが、わた毛がとぶからです。 (わけ)
- 花が かれた あとに わた毛が できます。 (ようす)
- そうすると、たねを ちらすことが できるからです。 (わけ)
- 雨ふりの 日には、わた毛の らっかさんは すばみます。 (ようす)

6 たしあめ

かんさつ名人に なるう ①
52-57

なまえ () 年 組 番 月 日 点

1 数えかたを、□から えらんで 書きましよう。

各 10 点

えらぶこ 三 本
おひつ 三 まい
よの車 四 だい
めい 二 わ

だい 本 こ まい わ

2 数の いろいろな よみかたを 書きましよう。

各 10 点



さんがつ () みつつ () さんこ ()
三月 () 三つ () 三こ ()

- しがつ () よつつ () よんほん ()
- はちがつ () やつつ () ようか ()
- くがつ () ここのつ () ここのか ()
- 八月 () 八つ () 八日 ()
- 九月 () 九つ () 九日 ()



「読む」は道場
読みにくい字のまき

名前 ()

「こ」に、読みがなや ことばを 書くんだね。



この日は、
一月一日 (ついたち) です。
がんにじつ

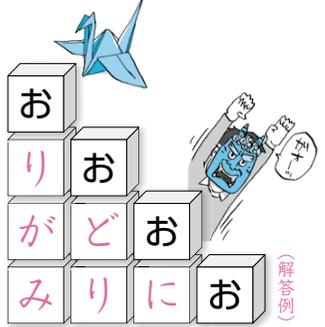
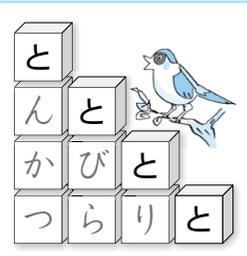


きょうは、
二月二日です。
ふっか
みっか
あす二月三日は、
せつぶん (まめまき) です。

「ことばの」は道場
ことばのかいだんのまき

名前 ()

「こ」は、かいだんを すくうのまき。



「こ」は、かいだんを すくうのまき。

かんざつ名人に
なろう ②

なまえ 年 組 番 月 日 点

1 の正しいいみに、○をつけましょう。

かんざつする。

- () ようすを書く。
- () ようすをきく。
- (○) ようすを見る。
- () みぢかいもの
- () 長さの
- (○) すぐそばにあるもの
- () めずらしいもの

2 つづくことばを、でつなぎましょう。

- においを 数える。
- 数を かぐ。
- 形や色を ひらく。
- はかる。
- 長さを 見る。



各10点

3 つづくことばを、からえらんで書きましょう。

- 花の つぼみが (ひらく) 。
- あたらしい つぼみに (気づく) 。
- きろくしたことが (やくに立つ) 。



各10点

そだてる やくに立つ ひらく 気づく

同じ ぶぶんを
もつ かん字

なまえ 年 組 番 月 日 点

1 二つの かん字の 同じ ぶぶんを、書きましょう。

村 校 木 刀

花 草 姉 妹 切 刀

女 刀

各10点

2 ほんたいの いみの かん字を、書きましょう。

上 ↓ 下 出 ↓ 入

右 ↓ 左 細 ↓ 太

各10点

3 の ぶぶんをもつ かん字を、書きましょう。

糸 ものさして 線 をひく。

言 むかし 話 の本を 読 む。

日 日曜は、 晴 れると いいな。

各10点



「アロ」は読みがなやことばを書いたね。



この日は、
三月三日 (みっか)
ひなまつり です。



この日は、
五月四日 (よっか)
しゆく日だ。



アロ



♣ コップなのに コップでないのは？

かみ コップ スコップ

コップは「アロ」で書くと「アロップ」になる。かみは「アロ」で書くと「アロキ」になる。スコップは「アロ」で書くと「アロップ」になる。

♣ 「かき」なのに でないのは、なあに？

ししがき ほしがき 絵かき

(解答例)

♣ 「ぶた」なのに でないのは、なあに？

くろぶた 子ぶた なべぶた

スイミー ①

なまえ 年 組 番 月 日 点

1 かたかなで 書きましょう。

ぼすと

ポスト



へりこぶたあ

各10点

どろつぷ

ドロツプ



ぶるどおざあ
ブルドーザー

2 まる。とてん、を一つずつ 書きましょう。

小さな ねこが、うちに います。

ぼくの かぞくは、五人です。



わたしの すきな くだものは、りんご です。



各10点

3 を かん字にして、文ぜんぶを 書きましょう。

なまえを いう。

げんきが 出る。

名前を 言う。

元気が 出る。

たこいどが ぎれる。



スイミー ②

なまえ 年 組 番 月 日 点

1 のふりといみが にている文に、○をつけましょう。

大きな魚の ふりを する。

（ ） バットを ふりきる。

（ ） きゆうに 雨が ふり出す。

（○） 知らない ふりを する。

2 （ ） にあうことばを、 からえらんで 書きましょう。

わたしは、きゆうしよくが 大すきです。

けれども、 にんじん だけ は

きらいです。そして、パン より

ごはんの ほうが すきです。



各15点

3 （ ） にあうことばを、 からえらんで 書きましょう。

だけ より もっと けれども

本を 山 のように つむ。

この おもちは、 石 のように かたい。

山の水は、 こおり のように つめたい。

今日は、 なつ のように あつい。

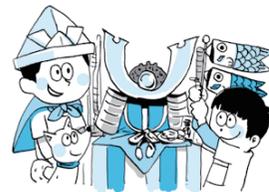


山	木	こおり	なつ	石
---	---	-----	----	---

各10点



「し」に、読みがなやことばを書くんだね



この日は、
五月五日
（いつか）
子どもの日
（子どもの日）
です。



この日は、
六月六日
（むいか）
うんどう会だ。



わたしが「あつたりのませいせまかな



たこを.....
「はい。」と、手をあげて
いるのは？
てんぷらを.....

おとうと
おねえさん
おかあさん



おまわりさん
スポーツばんぐみを
スピードいはんを
見のがさ
ないのは？
しゆくだいの
やりのこしを

おにいさん
おまわりさん
おかあさん

なまえ 年 組 番 月 日 点

1 () にあうことばを、□からえらんで書きましょう。

ぼくは、うっかり わすれものをするが、
あには、(**けっして**) わすれものを しない。
それは、前の日に (**かならず**)
きちんと じゅんびをするからだ。

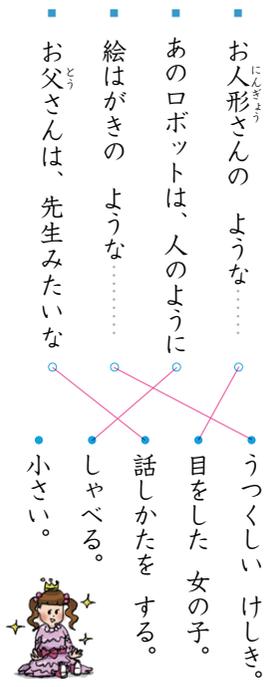


- かならず
- ときどき
- けっして

2 のたびにといみがにている文に、○をつけましょう。

- 見るたびに ひまわりは 大きくなる。
- () 知らないところへ たびに 出るのは たのしい。
- (○) () しょくじの たびに、おばさんは くすりを のむ。

3 つづくことばを、●でつなぎましょう。



なまえ 年 組 番 月 日 点

1 文しようを読んで、ア〜オでこたえましょう。

ア きじを見つけたよ

イ 木村 ようすけ

ウ ぼくは、日曜日におとうさんと、かわらをさん
ぼしていて、きじを見つけたよ。
エ タがた、かわらでケンケンと、なきながら
とんでいく、きれいなとりを見ました。おとうさん
が、それがきじだと教えてくれました。きじの
なき声は、とおくまで聞こえます。
オ きつと、みんなもなき声で、きれいなきじを、
見つけられると思います。



- 知らされたことを、くわしく書いたところは、(**エ**) です。
- なにを知らされたかを、書いたところは、(**ウ**) です。
- さく文のたいは、(**ア**) です。
- まどめを書いたところは、(**オ**) です。



2 () にあうことばを、□からえらんで書きましょう。

文しようを書くときは、なにを知らされたかを、
(**はじめ**) に書きます。そして、くわしい
ことを (**中**) に書きます。

- はじめ
- おわり
- 中

() に、
読みがなや
ことばを書き
こんだね。



この日は、
七月七日 (**なのか**)
(**たなばた**) です。



この日は、
八月八日 (**ようか**)
なつまつりだ。

二つの字
をぬいて、
ことばを
見つけな
んだね。

ななつ
なつやすみ
なつやすみ

さんか
さんかくとんび
さんかんび

あまい
あまいやどかり
あまやどり



1 丸。を一つ、かぎ」を一組 つけましょう。

	ひろしくんは、	ぼくに
と	「サツ	「
さ	カーをしようよ	」。
そ	ってくれました	」。
つ		
て		
く		
れ		
ま		
し		
た		



各20 40

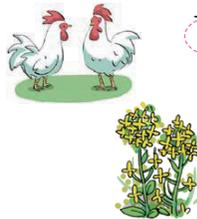
2 かぎ」を二組 つけましょう。

ぼくが、手で おなかを おさえて いると、
 おかあさんが、
 「どうしたの。」
 と聞きました。ぼくは さげびました。
 「おなか が いたいんだ。」



3 丸。と点、を一つずつ 書きましょう。

- 三くみの先生は すぎ先生です。
- わたしは、なの花が すきです。
- にわには、にわとりが いる。



各10 30

あったらいいな、
 こんなもの

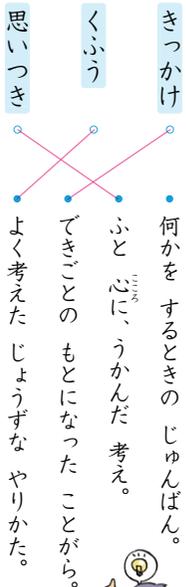
1 に、「。、」を書きましよう。

こんなものが あれば いいな
 と考えると とても たのしくなる。
 だから、みんなに 話したくなる。



各10 40

2 のいみをえらんで、でつなぎましよう。



各10 30

3 話が、じゅんになるように、ばんごうを書きましよう。

2 それは、こんな形を しています。

3 そして、こんなときに べんりです。

4 これで、ぼくの はっぴょうを おわります。

1 これから、ぼくの 考えたものを せつめいします。



各30

点は、どこにのまき



点、を
 つなごう
 文にのまき
 文にのまき。

わたしは、いりません。



わたしは、いりません。



ぼくは、兄と母を
 むかえに行つた。

ぼくは、兄と母を
 むかえに行つた。



ぼくは、兄と母を
 むかえに行つた。



おしごとは？のまき



「に」が九つも
 ならんだ
 おみせは？



「にくや」さん

一年に
 一日しか
 はたらかない
 赤いふくをきた人
 一人でできて？



（サンタ(さん)
 サンタクロース)

よぶとよい
 へんじをする
 おいしやさんは？



（はいしや)さん

なまえ () 年 組 番 月 日 点

ことばのかたまりで、なぞったりうつつたりしまししょう。

す	つ	で	だ	き	た	お	に	く	き
が	た	に	か	だ	。わ	。た	は	し	。き
た	ら	が	ら	け	た	。わ	は	し	。き
も	か	し	大	ど	し	は	い	を	。う
か	わ	ま	き	か	は	は	ぼ	り	。田
わ	っ	す	く	え	。お	は	が	に	中
っ	て	。だ	な	る	。お	は	え	行	さ
て	し	だ	ら	は	。た	は	る	き	ん
し	ま	っ	か	き	ま	。ひ	や	ま	と
ま	う	て	え	ら	じ	き	あ	し	お
う	ら	な	る	い	や	と	ま	た	。た
ら	ろ	ぎ	大	で	ま	り	が	え	。田
ろ	し	よ	い	す	じ	し	え	る	ん
し	て	ろ	そ	。す	ら	は	の	の	ぼ
て	な	ぎ	ぎ	。す	い	は	の	の	や

す	が	た	ら	も	か	わ	っ	て	し	ま	う	ら	ろ	し	て
つ	に	が	し	ま	す	。だ	っ	て	か	え	る	に	な	ぎ	。す
だ	か	ら	大	き	く	な	ら	は	き	ら	い	で	す	。す	。
き	だ	け	ど	、	か	え	る	は	ま	じ	や	く	し	は	す
。わ	た	し	は	九	ひ	き	ど	り	ま	し	は	す	。	。	。
お	た	ま	じ	は	九	ひ	き	ど	り	ま	し	は	す	。	。
に	は	い	ぼ	が	え	る	や	あ	ま	が	え	る	の	。	。
く	し	を	ど	り	に	行	き	ま	し	た	。	。	。	。	。
き	よ	う	、	田	中	さ	ん	と	お	た	ま	じ	や	。	。
き	よ	う	、	田	中	さ	ん	と	お	た	ま	じ	や	。	。



なまえ () 年 組 番 月 日 点

かゝるし
かゝるし
かゝるし

一字がえばのまき

- バット → ヨット
- モップ → コップ → ラップ
- ボール → メール → ゴール
- ラケット → チケット → ロケット
- ハン → ガム

なまえ () 年 組 番 月 日 点

1 () にあうことばを、 からえらびまししょう。

- このぼうしは、わたしに (ぴったり) です。
- ぼうしの色も形も、いい (かんじ) です。
- 花やさんは、きれいな花で (いっぱい) です。
- ママは、その話を聞いて、 (びっくり) しています。
- いっぱい ぴったり びっくり すっかり かんじ



2 つづくことばを、 でつなぎまししょう。

- すっかり、新しいぼうしが
 - ぼくは、しんごうが赤だと
 - 同じクラスのよし子さんと
- 気があいました。
気がつきました。
気もしました。
気に入りました。

3 かなのまちがいをなおしましょう。(二つあります。)

やかた おお
おみぜいの人たち



二人づつならんだれつがつづいていきます。

なまえ () 年 組 番 月 日 点

絵にあしひら
文にきり
調やかんのか

おかには、たけがある。

ここは、あったかいへやだ。

ここではきものをぬぐ。

手できって、きってをはる。

ははは、ははとわらう。



どうぶつ園のじゅうい ①

115-126

なまえ 年 組 番 月 日 点

1 のいみを からえらんで、記しを書きましよう。

リゆう (イ) アロのなかのはのねもをつつむ肉。
 見回る (ウ) イそのようになったわけ。
 さぐる (エ) ウまわりを見て歩く。
 はぐき (ア) エようすをこつそりしらべる。
 才はなれているものをつなげる。



2 話がつながるように、ばんごうを書きましよう。

- 1 朝、わたしのしごとは、見回りからはじまります。
- 2 お昼前に、にほんぎるにくすりをのませました。
- 3 夕方、ペンギンの手当てをすると、元気になりました。
- 4 一日のおわりには、気づいたことをきろくします。

3 のことばのいみを でつなぎましよう。

ほうきでにわを はく。 口から出させる
 くすりをバナナにはさむ。 なおす
 くすりを のませては かせる。 間に入れる
 そうじする

どうぶつ園のじゅうい ②

115-126

なまえ 年 組 番 月 日 点

1 のいみを からえらんで、記しを書きましよう。

きろく (オ) アけがをなおすのになにかすること。
 ふだん (ウ) イいつも
 しいく (エ) エ どうぶつにえさをあたえてそだてること。
 手当て (ア) オ大切なことを紙などに書いておくこと。

2 文に合うことばを、 からえらんで書きましよう。

タしよくのじゅんびに、時間が (かかる)。
 きゆうしよくの (かかり) をする。
 それは、いのちに (かかわる) ことです。
 かかえる (かかわる) かかる (かかり)

3 にまちがいのかなが、三つあります。なおして、文をぜんぶ書きましよう。

気	本
つ	を
い	読
た	ん
こ	で
と	、
を	一
い	人
う	ず
。	つ

各10点

だるまおとしのまき

40点

二つの手をぬいて、おとしのまきを見つけておきな。

かたためつむりな

あまがさかえる

かぶといもむし

かたつむり

あまがえる

かぶとむし

それってだれ?のまき

40点

「お魚」を... とるのは?
 「お米」を... のうかの人はなしかさん
 「わらい」を... けいじんさん

「お魚」を... とるのは?
 「お米」を... のうかの人はなしかさん
 「わらい」を... けいじんさん

つえをついて... あるくのは?
 のっそりのっそり... 赤ちゃん

つえをついて... あるくのは?
 のっそりのっそり... 赤ちゃん

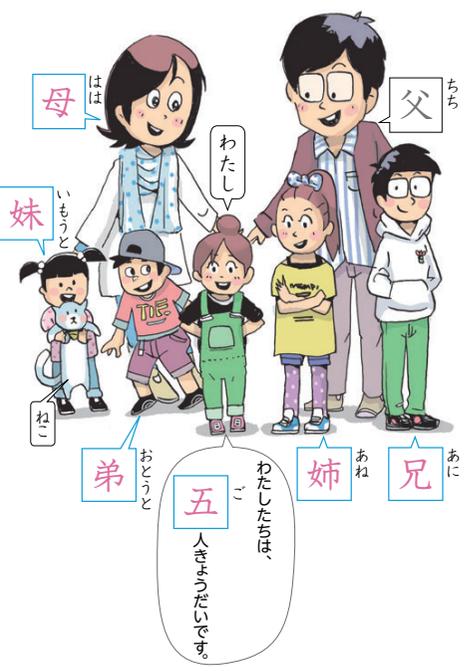
「お魚」を... とるのは?
 「お米」を... のうかの人はなしかさん
 「わらい」を... けいじんさん

「お魚」を... とるのは?
 「お米」を... のうかの人はなしかさん
 「わらい」を... けいじんさん

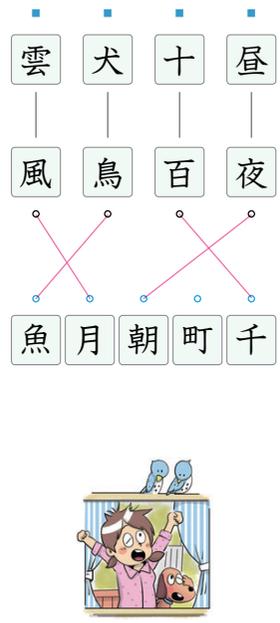
なかまのことばと
かん字
130-131

なまえ 年 組 番 月 日 点

1 家の人について、□にあうかん字を書きましょう。 各10点



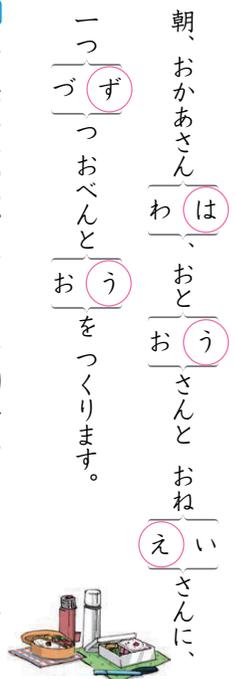
2 なかまのかん字を、○でつなぎましょう。 各10点



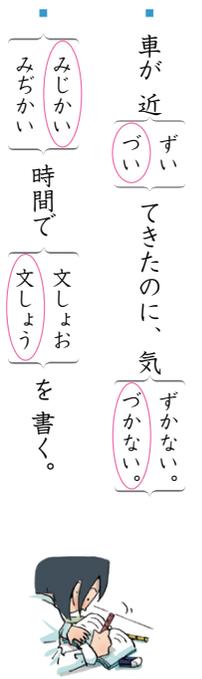
ぜんぎのまとめ

なまえ 年 組 番 月 日 点

1 正しいほうに、○をつけましょう。 各10点



2 かなづかいの正しいほうを、○でかこみましょう。 各10点



3 にかたかなで書くことばがあります。それをかたかなにして、文ぜんぶを書きましょう。

いつもしゃつは、ずぼんの中に入れてみましょう。

の	い	
中	つ	
に	も	
入	シ	
れ	マ	
ま	ツ	
し	は	
よ	、	
う	ズ	
	ボ	
	ン	

※完全10

なまえ

「う」のなかま



「う」のなかまのことばをつかって、文を作りましょう。

だまは あんなおみやげをもらうなんて、うらやましいなあ。わたしもほしいわ。

絵にあうことばを見つけてきたわ。

なまえ

なまえ

（ ）に絵の かん字を書くのね。 絵手紙みただわ。



（犬）とさんぽに出かけました。

（川）まできて はしの下をのぞくと、

（岩）のかけに

（魚）を見つけました。

かえりみち

（夕日）が、まっ赤に

もえていました。